

ものがたり

ドロシーはある日、家ごと竜巻に巻き上げられて
飼犬のトトと一緒にオズの国にやってきます
そこで出会った3にんの友だち

かかし、ブリキ、ライオン

4にんとトトは、どんな願いもかなえてくれる

「偉大なオズの魔法使い」に会うために旅に出ます

かかしは脳みそ！ブリキは心！ライオンは勇気！をもらうため

ドロシーは、我が家に帰るために…

オズのまほうつかい

原作 /
Lyman Frank Baum

スタッフ
脚色 / 篠原久美子

むすび座創立50周年記念作品「チト みどりのゆびをもつ少年」脚色。
等身大の子ども像の描写と社会に対する深い洞察力を持つ。

演出 / 関根信一 (劇団フライングステージ)

カムフラアウトしているゲイの劇団「劇団フライングステージ」の代表。細やかで鋭く深い人間観察と、様々なマイノリティを包み込み、一人一人の個性に寄り添った温かな作品創りに定評がある。東海地方では劇団うりんこ「わたしとわたし、ぼくとぼく」も作・演出。

美術 / 宮武史郎 小辻賢典

音楽 / ノヤママナコ (マナコプロジェクト)

振付 / LONTO (ラストラダカンパニー)

服部哲郎 (afterimage)

衣装 / 長谷川真代

照明 / 若狭慶大 (Lightbox)

宣伝美術 / 杉江智子 (デザインキッズ)

写真 / 服部義安

制作 / 吉田明子 伊藤博美



むすび座の〈オズのまほうつかい〉は

ドロシーだけではなく、かかしもブリキもライオンも子どもです。

3にんは自分に自信がなく自分を好きになれません。

そしてエメラルドの都に行けばオズの魔法で悩みが解決して

自分を好きになることができると信じています。

…でもそれは本当に魔法で叶えられるのでしょうか？

人形劇団むすび座は、1967年に名古屋で生まれ、「子どもと子どもをむすびます。おとなとおとなをむすびます」との思いを持ち、数々の人形劇を創ってきました。活動は東海地方を中心に全国に渡り、海外公演も行っています。

人形達が繰り広げるお話の世界を楽しみながら、子どももおとなも元気になる、そんなお芝居をたくさん創って皆さんにお届けします。

明石おやこ劇場は、子どもを豊かな環境で育てるためには、優れた舞台作品をおやこで鑑賞することがとても大切だと考えます。子どもが成長する過程は困難な状況に立つことが何度もあるでしょう。

また、年齢が小さいゆえに苦しむこともあるかもしれません。そんな時に力を与えてくれるのが舞台の力です。主人公たちが悩んだり、失敗したりしながら夢を追いかけていく姿は、子どもたちに大きな力を与えてくれます。舞台は芸術性を追求しながら子どもたちに今伝えたい思いを込めて真剣に作り上げたものです。その思いが子どもたちに届くことを願い、人形劇団むすび座「オズのまほうつかい」を明石の皆様にお届けします。

今回の公演は明石市立市民会館、人形劇団むすび座、NPO法人明石おやこ劇場の思いがひとつになって実現できました。夢はきっと叶うことを明石の皆様にお伝えできることを願っています。